

平成29年度

## 「環境への取り組みについて」

農業委員会事務局長 亀山 隆弘

### 部の環境方針

流山市が掲げる「環境方針」を念頭におき、地球温暖化防止や循環型社会の構築に配慮するとともに、将来にわたり好ましい環境が引き継げるよう、事務局職員をはじめ、各農業委員及び各農地利用最適化推進委員は、環境に配慮した取り組みを今後も行っていきます。

1. 農地パトロールなどの現地調査等のため、公用車を使用する場合には、走行距離や時間短縮を念頭に置き使用するとともに、農業委員等との合同調査等においては、ワゴン車等極力1台での使用に努め、省エネルギーの推進と排出ガスの削減を図ります。

また、停車時にはアイドリングストップの徹底を図ります。

2. エコオフィス（紙・ごみ・電気）への取り組み、グリーン購入の推進に努めます。

3. クールビズ等の徹底を図ります。

4. 遊休農地の解消を推進し、身近な緑である優良農地の確保に努めることで、地球温暖化防止に寄与します。

### 各課の環境目標・活動計画

流山市では、平成23年度から各課において環境への取組目標を設定し、全ての職員（臨時・嘱託職員を含む）が課の環境目標を記載した「環境カード」を携帯しています。これは、「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」と「環境マネジメントシステム」を職員一人一人が自覚し、日頃からの意識向上を目的に行っているものです。

課名	環境目標・活動計画
農業委員会事務局	・ 公用車の排出ガス及び電気使用量の削減 ・ コピー及びプリンター使用量の削減 ・ 遊休農地の解消

### 環境への取組の評価（平成29年度末に記入）

- ・農地法による許認可等のため、農業委員等と事務局職員により6人以上で現地調査を行う場合、効率の良い運行計画を立て、また、公用車の使用削減を図るため、ワゴン車1台を使用し、現地調査を行った結果、走行距離や走行時間を短縮しました。さらに、停車時においては、アイドリングストップの徹底を図りました。
- ・事務室内では、昼休みの消灯や離席時のパソコン電源オフを徹底し、節電に努めました。
- ・毎月開催される議案審査会、小委員会、農業委員会総会において使用する議案資料の作成に当たっては、コピーの使用量の削減に努めました。
- ・消耗品購入の場合には、グリーン購入法適合商品の優先に努めました。
- ・節電やクールビズ・ウォームビズなどの取り組みに当たっては、事務局職員とともに本市農業委員、農地利用最適化推進委員の理解と積極的な協力により、農業委員会が一体となり、環境に配慮した取り組みを行うことができました。
- ・農業の担い手への農地の集積・集約化を図ることを目的とした農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積事業を推進し、遊休農地の発生防止に努めました。